

「自分のデザインが商品化される」職業体験を

10回目となるTシャツデザインコンテスト

2012年11月にスタートした専門学校対象Tシャツデザインコンテスト。初回は11校の参加でしたが、現在では毎回約50校が参加し、1000作品以上の応募があります。コンテストを主催する株式会社ジーンズメイト代表取締役社長富澤茂氏にお話を伺いました。

コンテストを始めた背景

ジーンズメイトは、社名のとおりジーンズを中心としたカジュアルウェアを全国55店舗とオンラインショップで販売しています。20歳前後の方は、当社のウェアを着ていただくコア層になりますので、学生の皆様に当社を知ってもらいたいということが企画の始まりでした。ですが、単にショップ案内をしても多数あるカジュアルウェアの中に埋もれてしまします。もっと専門学校にも学生の皆様にもメリットがある取組ができるかと検討しました。専門学校には服飾やデザインの学校があるので、デザインコンテストをやってはどうかと思ったのですが、普通にコンテストを行っても面白みがないと思いました。そこで選ばれた作品をジーンズメイトで商品化したら、学生の皆様にとっての職業体験にもなるのではないかと考えました。そして、できるだけ多くの作品を商品化したかったので、半袖Tシャツのプリント部分をデザインしてもらうという案になりました。

職業体験とは?

商品化するには「このTシャツを買いたい」「お金を支払って入手したい」と思ってもらえるデザインにしなければなりません。これまでの最優秀賞受賞者の中

には、翌年の流行について調べたり、当社の商品ラインナップを研究したという方もいらっしゃいました。当初はその年のテーマを設定していましたが、現在は「翌年の春夏Tシャツとして売れるデザイン」というシンプルなお題にしています。これは社会に出てから、顧客からの依頼に応えるデザインを提案するのと同じなので、コンテストに参加することがまさに職業体験なのです。

作品の選考の仕方

ジーンズメイトでは優秀賞に選んだデザインはプリント加工して商品にします。店頭に並べて売れるかどうかがポイントになります。そのため当社のバイヤーを中心に、経営層も選考に加わって選出しています。昨年からは当社による一次選考の後、一般投票を受け、決定しています。そして最優秀賞は、販売開始から約1か月間で最も売れたデザインの上位3作品に授与することにしています。

継続できている理由

このコンテスト企画は、ジーンズメイトの中でも定番の企画となっています。購入する層と同年代の方がデザインした、他社にはないラインナップであることがお客様にも支持されているのだと思い

ます。一方で多くの学校が「今年こそは入賞しよう」「先輩に続いて最優秀賞を狙おう」と先生方も一緒に盛り上げてくださっています。学校にも良い企画として受け入れていただいていて、また売れる商品企画となっているという、両方が実現していることが10年続いている理由です。

今後の展開

2022年の優秀賞はこの紙面が届いている頃には決定しています。そして5月初旬には全国の店舗とオンラインショップで発売となりますので、是非実際に手に取ってみていただけたら嬉しいです。



富澤 茂 氏

1990年株式会社ジーンズメイト入社。
2015年より代表取締役社長就任。

MBSDセキュリティコンテスト2021 最終結果と学校アンケート [PR]

第6回専門学校・高等専門学校対象セキュリティコンテスト「MBSD Cybersecurity Challenges 2021」最終審査会が2021年12月16日にオンラインで開催されました。

結果は、最優秀賞 新潟コンピュータ専門学校「帰ってきた電子遊戯部」、第2位 ECCコンピュータ専門学校「0xDEADBEEF」、第3位 情報科学専門学校

「After_the_CM」。最優秀賞チームは、「完成するか不安でしたが、1位をとりたいという気持ちで頑張った」とコメント。

また参加した教職員の皆様にアンケートを実施したところ、「セキュリティ授業の一環として」参加している学校が7割近くあり、上位に入る学校が授業として取り組んでいることがわかりました。今後もセキュリティ教育に貢献するコンテストとなるよう企画してまいります。



最優秀賞 新潟コンピュータ専門学校「帰ってきた電子遊戯部」



第2位 ECCコンピュータ専門学校「0xDEADBEEF」



第3位 情報科学専門学校
「After_the_CM」

お問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

三井物産セキュアディレクション株式会社はTCE財団の検定事業に賛同します。

RPAを使って業務ロボットを作成!情報科学専門学校、日本電子専門学校にてトライアル授業実施 [PR]

情報科学専門学校、日本電子専門学校の情報ビジネス系学科にて、一般社団法人日本RPA協会の協力のもと、RPA活用トライアル授業を実施しました。

この授業では RPA 導入による業務効率化と働き方の変化について学び、後半は実際に RPA ツールで業務を自動化する体験をしました。今回は Web サイト上の PDF を一括

ダウンロードするロボットを作成し、RPA ツールが正しく動作した時には学生達も感動していました。DX 推進が求められる中、RPA の活用は、各地域の DX 推進の第一歩になるかもしれません。

<過去のRPA特集はこちら>



情報科学専門学校



日本電子専門学校

お問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

一般社団法人 日本RPA協会はTCE財団の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.14 2022年3月発行（年4回）

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-3 ルネパレティーレ汐留906 (株式会社ビーアライブ内)

[TEL]03-3436-2035 [Mail]setten-info@sgec.or.jp [URL]<https://setten.sgec.or.jp/>

協力：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）事業部事業課 検定試験センター

「創る」「使う」「伝える」
情報検定 J検

URL <https://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 日検
JOBpass
ジョブパス

URL <https://bken.sgec.or.jp/>

●【専門学校と経営】は、TCE財団の検定事業（J検・B検）と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。